

みんなで、楽しく 新年会 開催

平成15年1月26日
かんぽヘルスプラザ東京

新年祝賀会は、青空の美しい晴天に恵まれ、会場ではシヤギリ、木遣のテープを流し故郷の香り一杯の中で、始まり、会員78名に故郷から岡広一市長、吉井陽前協議会々々長、名塚孝一伝統芸能保存会々々長、福原博夫小学校校長をお迎えし盛大に挙行された。



司会の大家順一さんの発声で全員元気な新年の挨拶を交わし、黒崎副会長の開会の辞で開催された。

阿部会長は挨拶で「大勢の会員の出席、片貝からのご参加に感謝します。励ます会は講師を現役バリバリの50才から選出している。ご支援をオケサアートの出演もあり、楽しい一日を」と話された。

続いて、母校を励ます会本田会長から「会員の多大な協力に感謝、教育講演会では講師も工夫をして一生懸命です。小、中学の生徒さんからお礼の手紙を沢山頂いている。」と報告された。

来賓の挨拶では、岡市長から、当選のお礼、パイパス、流雪溝、総合会館などの事業、また農園付住宅を先り出したいと語られた。福原校長は鴻巣小学校の校歌のテープを流され、東京から送られた校旗、校歌の三番歌詞を探したと歴史に詳しい話しをされた。

今回は特に、NHK放送「こころ」について、元NHKの安達さんから紹介があった。懇親会は、大家国夫氏の司会で、乾杯を年長出席者、昭和五年卒、「昭五会」の三名

の音頭で始まった。オケサアートの相川音頭などの唄と踊り、日頃鍛えたカラオケを合唱と盛り上がり、「木遣り」の大合唱で最高潮に達した。

松下利夫氏の本中締め、吉井陽氏、小宮幸雄氏による万歳三唱、最後に藤原副会長から、ご協力への感謝、六月の総会には大勢誘って出席をとのお願いがなされ、楽しい新年会はお開きとなった。

【総会出席者氏名】(敬称略)

- 〔昭和5、10〕 浅田鉄三、山口三郎、平川とし
- 〔昭和11、20〕 黒崎吉吉、佐藤ヨシ、小宮秀夫、大分山善藏、阿部源一、山田チエ、横見よし、山田松次郎、小田レウ、中野まこと、内海光夫、松下利夫、吉原俊六、小宮幸雄、佐藤昭六、小宮幸雄、西山和子、上田益美、早シズ、中島ヨシ、氣田登美、松上津江、石井ユリ、江澤キヨ、重堀清、五十嵐貞雄
- 〔昭和21、30〕 吉原三代治、新野次朗、安達政男、清水敏雄、高野賢、清水好男、安達和一、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、黒崎正、大塚順、小宮トシエ、忍良貞夫、浅田義男、安達太、長岡利夫、中村恵美子、小野塚茂、石上俊夫、青木マツエ、松川七子、石川春子、佐藤祐、吉原勉、鯉島昭雄、木下伸、吉井均、安達政之、山田富子、吉田正、本田結、小野塚美知子
- 〔昭和31、43〕 大家国夫、黒瀬良子、小宮富典、小野塚清、芝満男、藤原慎、安達政、本田秀幸、吉原敏明、鈴木映子、松井京子、安達松郎、内藤富美子

二祝儀・二寄付 お礼

二祝儀、二寄付を頂きました。有り難うございました。

二祝儀 (敬称略)

岡広一、吉井陽、福原博夫、名塚孝一、南波謙一

二寄付 (敬称略)

小田レウ、星シズ、中島ヨシ、吉原三代治、新野次朗、阿部修次、中村恵美子、芝満男、小川茂雄、大坂照子、庄司とう、黒崎孝造、谷口イク、松田フミ、青木マツエ、吉原俊六、順不同

頂きました一年楽しめず。足元が少々落着です。黒崎 静 (昭10卒) ますますの御発展お祈り致します。クラスの方々へ宜しくお伝え下さい。城所 テル (昭18卒) 県会議員の新春のつどいで出席できません。皆様宜しくお願いを頂きます。皆様に宜しくお伝え下さい。吉原 栄一 (昭22卒) 佐倉新潟県人会と重なり出席できず残念です。佐藤 孝二 (昭22卒) 沖繩本島旅行とぶつかりますので欠席します。ご盛会を祈念いたします。新澤 須美 (昭24卒) 会報楽しく拝見しました。当日、予定があり欠席させて頂きます。本田 十三雄 (昭30卒)

総会の御案内のお返事で、出席できない方々から沢山の便りをお返しました。是非次回のご出席をお待ちしております。

石黒 ミス (敬称略、順不同)

会報嬉しく見ました。片貝の花火がテレビに出るとか楽しみに待っています。芝 五郎 (昭3卒) 御盛会を祈る。体調不調。黒崎 孝造 (昭6卒) ご多忙の中、カレンダーを

頂きました。足元が少々落着です。黒崎 静 (昭10卒) ますますの御発展お祈り致します。クラスの方々へ宜しくお伝え下さい。城所 テル (昭18卒) 県会議員の新春のつどいで出席できません。皆様宜しくお願いを頂きます。皆様に宜しくお伝え下さい。吉原 栄一 (昭22卒) 佐倉新潟県人会と重なり出席できず残念です。佐藤 孝二 (昭22卒) 沖繩本島旅行とぶつかりますので欠席します。ご盛会を祈念いたします。新澤 須美 (昭24卒) 会報楽しく拝見しました。当日、予定があり欠席させて頂きます。本田 十三雄 (昭30卒)

昨年の選暦の花火を打ち上げ、あの素晴らしいさは今でも忘れられません。舟山 カウ子 (昭30卒) 昨年の片貝祭り(選暦)最高でした。今、腰が悪くて入院中です。平沢 和子 (昭32卒) いつも会報ありがとうございます。足のケガがまだ完治していません。小野塚 和夫 (昭38卒) 都合により欠席させて頂きます。次回は...と思っております。盛会を祈念申し上げます。佐藤 正志 (昭39卒) 法事で片貝に帰ります。次回出席させて下さい。天野 八重子 (昭39卒) いつも会報ありがとうございます。片貝町の事柄が良くわかり、楽しみにしています。

東京片貝会 会計報告書

自平成14年4月1日 至平成15年3月31日

前年度繰越	619,679	総会費	627,825
内訳 (現金) (預貯金)	290,000	新年会費	567,739
(郵便貯金)	287,708	役員会費	103,718
(郵便振替)	85	庶人会費連費	43,000
(現金)	41,886	役員謝金	10,000
年会費(302名)	604,000	選挙・延年・祝い酒	16,400
前受年会費(4名)	8,000	交際費	37,890
総会費(67名)	469,000	慶弔金・見舞金	40,636
新年会費(78名)	546,000	通信費	139,470
ご祝儀・寄附金(37名)	267,000	会報印刷費	227,430
出納書交換分	675	事務費	3,730
郵便貯金受取利息	340	小千谷新聞購読料	11,616
		交通費	21,280
		什器備品(重れ幕)	24,000
		雑費	7,898
		郵便振替手数料	15,540
収入合計	2,514,694	支出合計	1,898,172
		後期繰越	616,522
		内訳 (現金) (預貯金)	290,000
		(郵便貯金)	284,473
		(郵便振替)	45
		(現金)	42,004

【住所表示変更】

昭和30年卒 小泉 春江 〒220-0003
横浜市西区楠町4-12 アーリア20-702
☎045-324-5687

母校を励ます会・報告

温かいご支援ありがとうございました

母校を励ます会は、皆様の温かいご支援を頂き、小・中学校への図書券の贈呈と同窓生による講演会の開催を行っています。今後とも、温かい母校への励ましを宜しくお願い申し上げます。活動に関するご提案もお待ちしています。

母校を励ます会の活動の環境である教育講演会は、本年度21回を迎えます。

講演会に関し、片貝中学校同窓会会報「窓友」、小学校学校だより「もみの木」などに感想が記載されており、一部を紹介いたします。

「もみの木」11/18

NHKだったでしょうか、「先輩の授業」(?)の番組があります。私は、その番組に匹敵する(いえ、それを上回る)授業を、片貝の子どもたちは毎年受けることができると、なんと幸せなことか、と思います。

「窓友」山田中学校校長

つどい会の山村さんが、以前から「今年はおうちの会のエースが講演してくれる」を誇らしげに話をされていました。当日は、同級生に召集があったそうで、そういう会があったからこそ、引き継がれた同

第21回 教育講演会

講師(内定) お知らせ

講師 安達雪江氏(にしん会)
題名 瑞国つれづれ

要旨 (瑞典:スウェーデン) スウェーデンには、20年ほど住んでいますが、第2の母国になりつつあるスウェー

デンと言う国を紹介しながら、経験から日本との文化の違いなどを語りたい。

永井 民子氏(一面記事)

東京片貝会の皆様へ

「母校を励ます」という会の趣旨がとても素敵だと思います。子供にとつては夢を持てにくい時代であるといわれています。こういう時代にあつて、各界で活躍される先輩方に支えられているという実感をもつことのできる片貝の子どもは幸せだと思います。

「母校を励ます会」基金協力者氏名

(敬称略・順不同)

平沢和子、大平アイ、黒崎孝造、小川茂雄、高田つとむ、谷口イイク、斎藤カツ、松田フミ、山口三郎、芋川とし、黒崎章良、中野みちよ、松下利夫、小宮幸雄、新野次朗、安達弘男、安達和三、阿部修次、神林勝夫、黒崎正、忍足良子、中村恵美子、石上俊夫、青木マツエ、佐藤祐一、木曾忠治、大塚国夫、黒瀬良子、小宮善典、小野塚清、芝満男、藤塚悟、安達弘、本田秀幸、吉原敏明、松井京子、内藤富美子、新沢須美、浅田栄三

『浅原神社』を散歩する

「いっちょようさま(王子様)」と呼んでいた浅原神社は、皆さんそれぞれの思い出があることでしょう。最近では、奉納火花がマスコミ、パソコンなどで広く紹介され、全国的な規模で、すっかり有名になりました。賑やかな「いっちょようさま」も良いですが、静かな時に訪れるのはいかがでしょう。そんな時の参考に「みどころ」を紹介します。

浅原神社の起源

片貝では、今でも親戚、縁者の集まりを「マキ」というのが、昔マキ親は氏神を持っており、浅原神社は吉原氏の氏神であったと言われる。

二百年ほど前に、十数個ある氏神の中から、村役人協議の上で、村の鎮守に決めた。やがて、本殿、灯籠、標柱、鳥居などが建てられ、その尊容を整えていった。百六十年前、京都の神社総元締めに頼み出て、浅原神社という神号に改められた。その十四年後社殿の改築が行われ、その時大火花奉納興業があつた。そして今日、四尺玉奉納の舞台となり、全国に知られている。

石造標柱

参道入り口右側に、石造標柱「浅原神社」が立っている。この標柱は約百年前に建てられ、筆者は書家巖谷十六(修)である。

佐藤家を訪れた時に書いたと言われる。巖谷修の息子が「金色夜叉」で有名な文士小波である。

石の大鳥居

参道を入ってすぐに大きな石の鳥居が立っている。約五十年前に建設されたが、当時は大

「人の短を言ふこと勿れ
己の長を説くこと勿れ
ものいへば 唇寒し
秋の風
花本十世 謙吉」とある

当時の片貝の「聴雨会」という同好会の人達の名が読み取れる

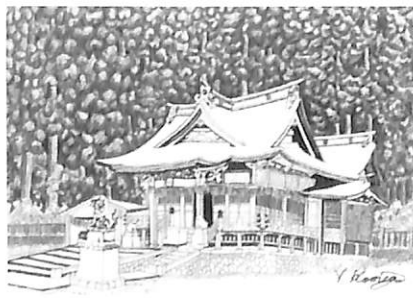
拝殿と神額

神額は最初は村の中央の小社であったが、約二百年前に、宜くじを発行して基金を作り、神額の修復を行った。30年後、拝殿造営、足掛け三年におよぶ大事業であった。百五十年前境内を拡張し、西方25メートル移動し現在の場所となった。昭和五十三年拝殿屋根銅版葺替の大修復を行い現在に至っている。

相撲場と杉の木

拝殿手前の右側に、うっそうと繁る杉の木と立派な相撲場が見える。杉の木は、神殿と拝殿の移動時に植樹されたもので、約百五十年を経て風格を感じさせる。

相撲場の歴史は極めて古く約二百年前、当時最も人気のあるスポーツである相撲の「公認相撲世話人」の認定を片貝の人が中央相撲司から受けた。片貝では相撲が盛んとなり「片貝の相撲」とも呼ばれ、百五十年前「相撲司公認相撲場」となり、土俵、四本柱の免許があり、日本で四、五ヶ所しかないと言われる由緒ある相撲場となった。昭和32年、52年に大相撲の興業が行われた。



御水屋と芭蕉句碑

石畳の参道を上がって行くと、左手に立派な御水屋がある。手洗鉢は、雄渾な筆のあとも見事な巨大水鉢で、約百五十年前に寄進されている。昭和に入り、御水屋と水道水の引き入れが行われた。

一寸目立たないが、御水屋の手前に芭蕉句碑がある。明治41年に建てられたもので表には

ふるやう・は・今

H14年12月から
H15年5月まで

母校近況

■小学校

県ふるさとづくり小千谷大会
「木遣り」を歌う
第十六回県ふるさとづくり

小千谷大会は、市民会館で開催され、片貝小五年生が「木遣り」を正調で歌い、保存会に弟子入りして取り組んでいる伝統芸能の継承活動を発表。

■中学校

吹奏楽 銀賞、銅賞を受賞
県アンサンブルコンテスト
は、12/8県吹奏楽連盟、朝日新聞社主催で上越文化会館で55団体が参加して開催された。片中は女性4人、8人のグループで出場し、銀賞、銅賞を受賞した。

■グループ

バスケットボール部頑張る
バスケット部は新人大会から見事な活躍を続けており、本大会が期待される。
・中越新人大会 一位
・長岡市 56チーム参加
・県中学新人大会 五位
・新潟市 16チーム参加
・第6回三条杯大会 二位
・三条市 16チーム参加
・親善長岡大会 三位
・長岡市 12チーム参加
・第11回スプリングカップ 優勝

■ピカピカ一年生入学

小学校の入学式は、4月7日に行われ、男子25名、女子21名の計46名が一年生となった。ここ三年間同人数が続いている。

■校長先生異動

福原博夫校長先生は長岡市大島小へ、着任は上越市谷浜小から杉山淳一校長先生の異動があった。

開催され、新会員は49名(男24名、女25名)で会名は「暖心会」(あったかい)と名付けられた。同窓会の説明、励ましの言葉、入会の言葉のあと、木遣りの指導を受けた。

片貝町の流雪溝整備は下水道リサイクル推進事業により進められていたが、三之町、四之町、五之町を中心とする住宅地を含めた全域の流雪溝施設が完成した。12/2に起動式が挙行された。

■車両センター完成

J A片貝町は、施設の集約化を図るため、車両センターを片貝バイパス沿いに移転新築中であつたが、このほど最新式の機会を備えた施設が完成した。

■平成14年度片貝10大ニュース

J A片貝町が一般町民から募集し、大晦日に発表された第一位は「片貝バイパス全通」であつた。二位「J A片貝町とJ A小千谷市との合併承認」三位「J A片貝町組合員のつどい開催」で「こころ」片貝で撮影」は十位であつた。

■市内最大賽の神

かとうかずこさん参加
小正月の伝統行事・賽の神は、十三日夜多様な催しが開かれた。福もちまき、六

■片貝中同窓会入会式

同窓会の入会式が2月25日

EGYPTIAN

念願の流雪溝整備が完成

片貝町の流雪溝整備は下水道リサイクル推進事業により進められていたが、三之町、四之町、五之町を中心とする住宅地を含めた全域の流雪溝施設が完成した。12/2に起動式が挙行された。

■車両センター完成

J A片貝町は、施設の集約化を図るため、車両センターを片貝バイパス沿いに移転新築中であつたが、このほど最新式の機会を備えた施設が完成した。

■平成14年度片貝10大ニュース

J A片貝町が一般町民から募集し、大晦日に発表された第一位は「片貝バイパス全通」であつた。二位「J A片貝町とJ A小千谷市との合併承認」三位「J A片貝町組合員のつどい開催」で「こころ」片貝で撮影」は十位であつた。

■市内最大賽の神

かとうかずこさん参加
小正月の伝統行事・賽の神は、十三日夜多様な催しが開かれた。福もちまき、六



加来 陽子さん第二回
ふれあいコンサート
J A片貝町はソプラノ歌手加来陽子さんによるコンサートを3/22、約三百五十名を集めて開催、校歌やコーラスグループの参加もあり盛り上がった。



■小千谷市新年度予算

片貝総合センター建設
緊縮財政の中、十五、十六の両年度で、旧J A片貝町の車両センター跡地に建設される。地域活動支援、支所、公民館地域福祉推進等の機能を持つ複合施設、予算約2.4億円。東京で「小千谷の食」大人気

■市農村都市交流推進協議会

は、3/21から23日まで渋谷のNHK玄関前広場での「ふるさと食」に「ほんの食」



全国フェスティバルに参加、四尺玉の模型、小千谷そば、笹だんご、コシヒカリに人気が集まり、大盛況であつた。
片貝町協議会 川上会長再任
総会を4/5開き、川上東陽会長(64、鴻巣)の再任を全会一致で決めた。任期二年。
小千谷市議会議員選挙
吉原氏、安達氏上位当選
市議会議員選挙は、四月十七日投票が行われ、片貝地区の吉原正幸氏は、三番目、安達稔氏は、五番目で当選が決まった。(議員数、十三名)

陽光会だより
今年選暦を迎えます。会長は阿部尚さん。祭りの花火は昨年なみにしたいと日々集まり会合をしています。4/13日町裏に事務所開きを行い、東京や町外から四十名出席しました。九月九日お待ちしています。(藤塚 悟)

永井民子氏論文題名
地域の芸能伝承が子どもの社会化に果たす役割
小千谷市片貝町秋季大会におけるシャギリ・木遣りの伝承を通して

あとかぎ
今回の総会に、会報に載せて頂きましたイラストの原画を少し展示させて頂きます。(小宮)